

PICU Awareness Week in Japan

開催のご案内

PICU Awareness Week in Japan 開催のご案内させていただきます。

アメリカ集中治療医学会（SCCM）では毎年5月を National Critical Care Awareness and Recognition Month とし、広く ICU の認識を高めようと活動が行われています。

<https://www.sccm.org/nccarm>

World Federation of Pediatric Intensive and Critical Care Societies: WFPICCS (理事長、中川) においても、5月の第2金曜日を World PICU Day とし、その直前の1週間を PICU Awareness Week とすることとなりました。第一回目となる今年は、5月8-14日が Awareness Week、また5月14日が World PICU Day となります。

<https://www.wfpiccs.org/world-picu-awareness-week-and-world-picu-day/>

これにあわせて、日本でも Awareness Week 中の平日5日間（5月10~14日）を PICU Awareness Week in Japan とし、ウェブで企画を行うこととしました。

この PICU Awareness Week in Japan に、みなさまにもご参加いただきたくご連絡させていただきました。

【PICU Awareness Week in Japan】

日時：5月10~14日、夕方18時から19時まで（毎日1時間予定）

方法：ウェブ：ウェビナー形式、参加無料

対象：小児重症患者さんに関わる多職種医療者

内容：1日1テーマ 講義と座談会の2部構成予定

アドレス：近日中に JSPICC ホームページ掲載 (<https://www.jspicc.jp>)

●講演

各テーマに関して「今までにわかっていること」と「今わかっていないこと」を示しながら、ご講演いただき、パネルディスカッションを行います。

●座談会

前半の講演会で取り上げたテーマに関連するトピックスを複数取り上げて多職種でディスカッションします。

いずれの講演・座談会も多職種を対象にした内容を目指し、多職種からなるパネリストに登場していただく形を企画中です。

プログラム

	講義：18時00分～18時30分	座談会：18時30分～19時00分
5月10日（月）	循環 輸液ボラス（主な対象：医師・多職種）	
5月11日（火）	抑制・鎮静（看護ケア）（主な対象：看護師・多職種）	
5月12日（水）	経静脈栄養 カテーテル管理（主な対象：多職種）	
5月13日（木）	蘇生（主な対象：多職種）	
5月14日（金）	研究キャリア （主な対象：多職種）	中川聡 WFPICCS 理事長ヘインタビュー （主な対象：医師・多職種）

（詳細は JSPICC ホームページに随時掲載します <https://www.jspicc.jp>）

万障繰り合わせの上ご視聴・ご参加いただきたく、ご案内させていただきます。

どうぞよろしくお願いいたします。

2021PICU Awareness Week in Japan 運営メンバー（五十音順、敬称略）

奥脇一、加藤宏樹、川口敦、黒澤寛史、先濱大、庄野健太、竹内宗之、中川聡、山田浩平

合同企画：WFPICCS/JSPICC/INSPIRED

実行委員長（担当窓口） 徳平夏子

大阪大学医学部附属病院集中治療部

tokuhira@hosp.med.osaka-u.ac.jp

WFPICCS：

World Federation of Pediatric Intensive and Critical Care Societies

理事長 中川聡（国立成育医療研究センター）

JSPICC：

日本小児集中治療研究会 *Japanese Society of Pediatric Intensive and Critical Care*

理事長 竹内宗之（大阪母子医療センター）

INSPIRED：

小児集中治療研究教育グループ *Innovative Support for Pediatric Intensive Care*

Researches and Educations

PICU Awareness Week in Japan プログラム

(氏名・施設名は五十音順、敬称略、D：医師、N：看護師)

5月10日(月)

講義・座談会：輸液ボラス投与・循環 主な対象：医師・多職種

集中治療室で毎日、当然のように行われている輸液療法。積極投与する輸液ボラス量は？輸液反応性の評価パラメーターは？改めて集中治療室における輸液療法について考えてみたいと思います。後半の座談会では集中治療室における「循環」をテーマに日々の疑問について多職種・多施設間で話します。

講師：中川聡(D) 国立成育医療研究センター

5月11日(火)

講義・座談会：抑制・鎮静（看護ケア） 主な対象：看護師・多職種

講義では日本のPICUにおける身体抑制の研究をされた池辺先生にお話をいただきます。後半の座談会では抑制・鎮静管理における議題を取り上げ各施設の工夫、方法、課題など議論します。

講師：池辺諒(N)関西看護医療大学 司会：金澤伴幸(D)岡山大学医学部附属病院

5月12日(水)

講義・座談会：経静脈栄養・カテーテル管理 主な対象：多職種

小児の経静脈栄養とそれを行う上で必要となる中心静脈カテーテルの管理について取り上げます。座談会ではカテーテル管理を中心に、日々の診療における疑問を多施設・多職種で議論します。

講師：清水義之(D)大阪母子医療センター 司会：加納恭子(D)熊本赤十字病院

5月13日(木)

講義・座談会：蘇生 主な対象：多職種

講義は蘇生ガイドライン2020をテーマとし、ガイドライン2015からの変更点や、国内外の各地域のガイドラインの相違を紹介します。座談会では、蘇生後管理、シミュレーション教育など蘇生に関連した話題について取り上げます。

講師：宮下徳久(D)兵庫県立こども病院 司会：小泉沢(D)宮城県立こども病院

5月14日(金)

座談会：研究キャリア 主な対象：多職種

臨床の現場から沸き起こる疑問、そしてきになる疑問が頭から離れない。気づくと行動を起こしている。それが研究。多職種による「研究」の観点からキャリアを座談します。

司会：川口敦(D)東京女子医科大学

パネリスト：池辺諒(N)関西看護医療大学、高山温子(N)東北大学大学院、本間順(D)東京女子医科大学、渡邊伊知郎(D)東京都立小児総合医療センター 他

インタビュー：中川聡WFPICCS理事長 主な対象：医師・多職種

WFPICCS理事長に就任された中川聡先生に登場していただきWFPICCS理事長にいたるまでのPICU医療者としてのキャリアをお話いただきます。

司会：徳平夏子(D)大阪大学医学部附属病院 インタビュアー：小泉沢(D)宮城県立こども病院、川崎達也(D)静岡県立こども病院、賀来典之(D)九州大学医学部附属病院

(プログラムは予定です)

合同企画：WFPICCS/JSPICC/INSPIRED

PICU Awareness Week in Japan

日時：5月10~14日、夕方18時から19時まで（毎日1時間予定）

方法：ウェブ：ウェビナー形式、参加無料

対象：小児重症患者さんに関わる多職種の医療者

内容：1日1テーマ 講義と座談会の2部構成予定

アドレス：近日中にJSPICCCホームページ掲載予定 (<https://www.jspiccc.jp>)

プログラム（予定）

	講義：18時00分～18時30分	座談会：18時30分～19時00分
5月10日 （月）	循環 輸液ボラス（主な対象：医師・多職種） 講師：中川聡先生	
5月11日 （火）	抑制・鎮静（看護ケア）（主な対象：看護師・多職種） 講師：池辺諒先生	
5月12日 （水）	経静脈栄養 カテーテル管理（主な対象：多職種） 講師：清水義之先生	
5月13日 （木）	蘇生（主な対象：多職種） 講師：宮下徳久先生	
5月14日 （金）	座談会：研究キャリア （主な対象：多職種）	中川聡WFPICCS理事長インタビュー （主な対象：医師・多職種）

●講演

各テーマに関して「今までにわかっていること」と「今わかっていること」を示しながら、ご講演いただき、パネルディスカッションを行います。

●座談会

前半の講演会で取り上げたテーマに関連するトピックスを複数取り上げ、ます。

いずれの講演・座談会も多職種を対象にした内容を目指し、多職種からなるパネリストに登場していただく形を企画中です

万障繰り合わせの上ご視聴・ご参加いただきたく、ご案内させていただきます。
どうぞよろしくお願いいたします。